

【学校教育目標】「夢を持って、仲間と協力し合い、創造的で心豊かに逞しく生きる人間の育成」

目指す生徒像と取り組み

目指す生徒像	取り組み
夢と目標を持ち 課題に向かって 主体的に 仲間と共に 学びあう 生徒	知 1 学習規律の定着 忘れ物ゼロ、チャイム着席厳守、授業の挨拶 2 見通しを持った積極的な学習 授業課題の把握、積極的な学習と発言 3 学習内容と取組姿勢の振り返り 学習内容の確認、授業意欲の評価 4 学習習慣の確立と内容の向上 家庭学習の質の向上、授業と連動した家庭学習
生命を尊重し 郷土と仲間を 思いやる 心の豊かさ 優しさを持つ 生徒	徳 1 基本的な生活規律の確立 生活規律、明るい挨拶、TPOを意識した言動 2 達成感と自己有用感の育成 合唱、ボランティア活動（生徒会・委員会・清掃） 3 自他の生命の尊重 自他の生命尊重、いじめ撲滅 4 郷土愛の育成 郷土愛、自然愛護、地域の伝統や文化の継承
より良い姿と 高い価値を求め 仲間と 励まし合い 心身を鍛える 生徒	体 1 健康的な生活リズムの確立 好ましい生活習慣、メディア利用時間の改善 2 健康を意識した食習慣 朝食、栄養バランスのとれた食生活、肥満予防 3 体力向上 朝ランニング、部活動、陸上練習、徒歩通学 4 心の健康 日常観察、調査、教育相談、視野を広げる読書



取り組みの具体的な達成目標			
学校の役割と生徒の取り組み		家庭・地域にお願いする取り組み	
教師の取り組み	生徒の取り組み	家庭の取り組み	地域の取り組み
1 チャイムとともに元気な挨拶で授業を開始する。前時の課題等を確認し、取り組みの評価を行う。 2 本時の学習課題を明確にし、授業の見通しを持たせ、生徒の考えを引き出す授業を展開する。 3 学習内容を振り返るまとめと学習意欲や態度に関するまとめを行い、本時の授業の評価を確実に行う。 4 本時の学習内容の定着や次時の学習内容に関連した学習課題を提示し家庭学習の意欲を高める。	1 授業の準備をして席につき、開始の挨拶を元気に行う。授業に必要な用具や課題、提出物を忘れない。 2 学習の見通しを立てて積極的に授業に参加し、毎時間、複数回の発言をする。 3 授業の最後に学習した内容をまとめることができ、自分自身の学習に向かう姿勢を振り返って評価する。 4 60分以上の内容の濃い、充実した家庭学習を行う。毎日と週末の課題を確実にいき、授業に生かす。	1 自室や学習環境の整理整頓を意識させ、子どもが自らの学習環境を維持できるよう支援する。 2 子どもが家庭学習習慣を身につけられるよう家庭での過ごし方を確認し合い、支援する。 3 定期試験への励ましや期末面談後の評価、長期休業に向けた励ましを積極的に行う。 4 体験を交えながら将来の夢や職業を家庭内の話題とし、子どもの進学や職業観に対する意識を高める。	
1 生徒の日常生活や言動に常に心を配り、生徒の模範となる言動と明るい挨拶を率先して行う。 2 生徒に様々な活動の意義を理解させ、主体的な活動による達成感と自己有用感を味わわせる。 3 生徒の人間関係の理解と変化に注意を払い、自他の生命と安全を守る心と行動力を育てる。 4 地域の文化や伝統に接する活動を積極的に取り入れ、郷土の自然や文化を愛護する心を育てる。	1 基本的な生活規律を身につけ、明るく元気な挨拶とともに、時と場所目的に応じた言動をとる。 2 合唱と生徒会活動や清掃などの学校内外のボランティアの意義が分かり、自分から積極的に取り組む。 3 他を思いやり自他の生命と安全を守る。いじめは絶対に「しない」「させない」「やめさせる」 4 郷土と自然を守るための活動に進んで取り組む。地域や世代間の交流活動や挨拶を積極的に行う。	1 家庭生活リズムを整え、家族間の挨拶や声掛けを意識して行う。TPOに合わせた服装と言動を教える。 2 子どもに家庭の状況に合わせた仕事や役割を与え、家族の一員としての責任を持たせる。 3 自分と地域の子どもの様子を気に配り、悪い事は注意し、気になる事は家庭間や学校と共有する。 4 地域の方々と触れ合う機会や挨拶を通して自分の暮らす地域や自然を大切にすることを育てる。	1 生徒の登下校や休日の様子に関心を向け、声掛けを通して身近な存在と感じさせる。 2 学校内外の生徒の活動への意識を高めし、学校行事の参観の機会を増やす。 3 生徒の言動に気を配り、良い事は褒め、気になる事は注意し、学校へも伝える。 4 生徒に地域の歴史や伝統、文化と素晴らしいさを伝え、地域の一員としての意識を持たせる。
1 インターネット接続機器の利用状況を把握し、適切な使用と規則正しい生活習慣を身につけさせる。 2 健康を維持するために必要な食事と栄養素を理解させ、好ましい食習慣を身につけさせる。 3 体力向上と競技への興味関心を高める指導法を工夫し、生徒が積極的に活動できる環境を整える。 4 生徒に寄り添うために心身の状態を適切に把握する。視野を広げ、生き方を学ぶための読書を推進する。	1 21時以降のスマホ等を利用したネット接続をやめ、規則正しい生活習慣を身につける。 2 朝食をきちんと摂り、好き嫌いの無い食事をする。栄養バランスを意識した食事を行う。 3 朝ランニング・部活動・陸上練習・徒歩通学に積極的に取り組み自らの体力の向上に努める。 4 悩みや不安を一人で抱えず、友人や先生に相談する。読書に親しみ自分の視野や生き方を広げる	1 家庭内でスマホ等の利用の約束を決め、守らせる。早寝早起き等の生活習慣を身につけさせる。 2 栄養バランスの取れた食事の準備と子どもの食習慣の改善を図り、健康の管理に努める。 3 部活動や体力づくりの取組を励まし、頑張りを認める。通学路を考慮しながら徒歩通学を支援する。 4 子ども心の心や体の変化、交友関係の心配事を学校と共有する。視野を広げ、生き方を学ぶ読書を勧める	3 部活動や陸上競技、体力づくりに取り組んでいる生徒への励ましや支援に協力する。 4 生徒や家庭の様子、学校についての意見を積極的に学校へ知らせる。